

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】令和 4 年 10 月 24 日(2022.10.24)

【国際公開番号】WO2022/102414

【出願番号】特願 2022-512358(P2022-512358)

【国際特許分類】

B 3 2 B 27/32(2006.01)

B 3 2 B 27/00(2006.01)

B 6 5 D 65/40(2006.01)

10

【F I】

B 3 2 B 27/32 E

B 3 2 B 27/00 A

B 6 5 D 65/40 D

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 2 月 22 日(2022.2.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

環状構造を有さないポリプロピレン系樹脂を主成分とし、該ポリプロピレン系樹脂として、プロピレン単独重合体 (a 1) 及びプロピレンと他のオレフィン共重合体 (a 2) とを含有する基材層 (A)、

環状ポリオレフィン系樹脂を主成分とする第一の中間層 (B)、及びポリオレフィン系樹脂を主成分とするシール層 (D) が、(A) / (B) / (D) の順に積層された共押出多層フィルムである、アルコール透過抑制フィルム。

30

【請求項 2】

環状構造を有さないポリプロピレン系樹脂を主成分とし、該ポリプロピレン系樹脂として、プロピレン単独重合体 (a 1) 及びプロピレンと他のオレフィン共重合体 (a 2) とを含有する基材層 (A)、

環状ポリオレフィン系樹脂を主成分とする第一の中間層 (B)、及びポリオレフィン系樹脂を主成分とするシール層 (D) が、(A) / (B) / (D) の順に積層された無延伸の多層フィルムである、アルコール透過抑制フィルム。

【請求項 3】

アルコール揮散防止フィルムの全厚に対する前記基材層 (A) の厚み比率が 15 ~ 75 % である、請求項 1 又は 2 に記載のアルコール透過抑制フィルム。

40

【請求項 4】

前記基材層 (A) と第一の中間層 (B) との間に、ポリエチレン系樹脂を主成分とする第二の中間層 (C) を有する請求項 1 ~ 3 の何れかに記載のアルコール透過抑制フィルム。

【請求項 5】

前記第二の中間層 (C) のポリエチレン系樹脂として、密度が 0.950 g / cm² 以上の高密度ポリエチレン (c 1) 及び / 又は密度が 0.900 g / cm² 以上 0.945 g / cm² 未満のエチレン系樹脂 (c 2) を含有する請求項 4 に記載のアルコール透過抑制フィルム。

【請求項 6】

50

アルコール透過抑制フィルムの全厚に対し、前記第二の中間層（Ｃ）の厚み比率が３５～７０％であり、前記第一の中間層（Ｂ）の厚み比率が５～２５％である、請求項４又は５のいずれかに記載のアルコール透過抑制フィルム。

【請求項７】

前記第一の中間層（Ｂ）の含有する環状ポリオレフィン系樹脂としてノルボルネン系重合体を含み、

前記第一の中間層（Ｂ）に含まれる樹脂成分中の環状ポリオレフィン系樹脂の含有量が７０質量％以上である、請求項１～６のいずれかに記載のアルコール透過抑制フィルム。

【請求項８】

前記シール層（Ｄ）の含有するポリオレフィン系樹脂として、ポリエチレン系樹脂（ｄ１）を含有する、請求項１～７のいずれかに記載のアルコール透過抑制フィルム。 10

【請求項９】

前記アルコール透過抑制フィルムの総厚みが２０～９０μｍの範囲である、請求項１～８のいずれかに記載のアルコール透過抑制フィルム。

【請求項１０】

温度２５の条件下で６日間保持した後のアルコール濃度の残存率が１０ppm以上である請求項１～９のいずれかに記載のアルコール透過抑制フィルム。

【請求項１１】

請求項１～１０のいずれかに記載のアルコール透過抑制フィルムからなる包装材。

【請求項１２】 20

食品用又は医薬品用である請求項１１に記載の包装材。

【請求項１３】

請求項１～１０のいずれかに記載のアルコール透過抑制フィルムを袋状に密閉した内部にアルコール揮散剤を有する包装体。

30

40

50